

春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 市は、環境への負荷の少ない循環型社会に変革するため環境保全意識の高揚を図り、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止に寄与するため、地球温暖化防止対策の機器を設置する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付することとし、その交付については、春日井市補助金等に関する規則（昭和54年春日井市規則第4号。以下「規則」という。）定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(補助対象機器)

第2条 補助の対象となる機器（以下「補助対象機器」という。）は、別表第1の左欄に掲げる機器の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に定める要件を満たすものとする。

(補助対象者)

第3条 補助の対象となる者は、補助対象機器を設置する個人で、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 自ら居住する市内の住宅（店舗等との併用住宅を含む。）に補助対象機器を設置する者
- (2) 自ら居住するため、市内の補助対象機器付き建売住宅を購入する者

2 補助対象機器に対する補助金の交付は、補助対象機器の種類ごとに、1世帯につき1回限りとする。

(補助対象経費)

第3条の2 補助対象経費は、補助対象機器の設置に要する費用（消費税及び地方消費税を除く。）であって、補助対象機器の種類に応じ、それぞれ別表第2に掲げるものとする。

(補助金額)

第4条 補助金の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定め

る額とする。

- (1) 太陽光発電システム 20,000円にシステムを構成する太陽電池モジュールの最大出力値（単位は、キロワットとし、小数第3位を切り捨てる。出力4キロワットを超えるシステムにあつては、4キロワットとする。）を乗じて得た額とする。なお、1,000円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。
- (2) 燃料電池システム 1台につき50,000円とする。
- (3) 家庭用エネルギー管理システム 1台につき10,000円とする。
- (4) 定置用リチウムイオン蓄電システム 1台につき60,000円とする。
- (5) 窓断熱改修 補助対象経費に4分の1を乗じて得た額とし、1,000円未満の額は切り捨てるものとする。ただし、補助金の額の上限は60,000円とする。

（仮申請書の提出等）

第5条 補助金の交付を受けようとする者（以下「補助事業申請者」という。）は、補助対象機器の設置工事着手前（補助対象機器付き住宅を購入する場合にあつては引渡し前）に、春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付仮申請書（第1号様式。以下「仮申請書」という。）を市長に提出しなければならない。

2 市長は仮申請書を先着順に受け付けるものとし、予算の範囲を超えると認められるときは、受付を停止することがある。

（補助金交付の申請等）

第6条 規則第3条及び第9条の規定にかかわらず、補助事業申請者は、補助対象機器に係る設置完了又は補助対象機器を設置した住宅の引渡し後、当該年度の3月15日（同日が土曜日又は日曜日の場合は、直前の平日となる日）までに、春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付申請兼事業実績報告書（第2号様式。以下「交付申請書」という。）に、次に掲げる書類を添えて、提出しなければならない。

- (1) 補助対象機器に関する設置事業概要書（第3号様式）
- (2) 工事請負契約書又は売買契約書の写し
- (3) 補助対象機器の名称及び種類ごとの補助対象経費が明記されている書類（見積書、内訳書等）の写し。
- (4) 領収書の写し（補助対象機器の設置に要した費用が分かるもの。）
- (5) 電力会社の発行する発電設備の連系に関するお知らせの写し及び太陽電池モジュールの配置図（太陽光発電システムに限る。）
- (6) 断熱窓の規格、性能等が分かる書類（窓断熱改修に限る。）
- (7) 補助対象機器の保証書の写し（日付が記載されているもの。太陽光発電システム及び窓断熱改修を除く。）
- (8) 補助対象機器が設置された建物の全景写真のほか、次の区分に応じ、それぞれ定める写真
 - ア 太陽光発電システム 太陽電池モジュールの設置状態が確認できる写真
 - イ 燃料電池システム 燃料電池ユニット及び貯湯ユニット本体の写真並びに燃料電池ユニットに添付されている銘板の写真（定格出力が確認できるものとする。）
 - ウ 家庭用エネルギー管理システム 家庭用エネルギー管理システム本体の写真及びモニター装置でシステムが起動していることが確認できる写真
 - エ 定置用リチウムイオン蓄電システム リチウムイオン蓄電池本体の写真及び添付されている銘板の写真（製造番号が確認できるものとする。）
 - オ 窓断熱改修 工事の着手前及び設置後の状況が確認できる写真
- (9) 補助対象機器を設置した住宅に居住し、当該住所が現住所になっている補助事業申請者の住民票の写しで、発行日が交付申請書の申請日から3か月以内のもの
- (10) 自己の所有しない住宅等に補助対象機器を設置する場合は、住宅所有者の住宅用地球温暖化対策機器設置に関する承諾書（第4号様式）
- (11) その他市長が必要と認める書類

(補助金の交付決定)

第7条 規則第4条及び第10条の規定にかかわらず、市長は、前条の規定により交付申請書が提出されたときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めた場合は、補助金交付決定兼交付額確定通知書（第5号様式）により通知するものとする。

(補助金の請求及び交付)

第8条 前条の規定による通知を受けた者（以下「交付決定者」という。）は、請求書を提出し、市長は、この請求に基づき補助金を交付するものとする。

(処分の制限)

第9条 交付決定者は、太陽光発電システムについては17年以内、燃料電池システムについては6年以内、家庭用エネルギー管理システムについては5年以内、定置用リチウムイオン蓄電システムについては6年以内に、当該システムを、補助金交付の目的に反して使用し、売却し、譲渡し、交換し、貸与し、担保し、又は廃棄（以下「処分」という。）してはならない。ただし、あらかじめ処分承認申請書（第6号様式）を市長に提出し、その承認を受けた場合は、この限りでない。

2 市長は、前項ただし書きの規定による申請書の提出を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めるときは、処分承認通知書（第7号様式）により、当該申請書を提出した交付決定者に通知するものとする。

(補助金交付決定の取消し又は補助金の返還)

第10条 規則第11条第1項の規定にかかわらず、市長は、交付決定者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、補助金交付の全部又は一部を取り消すことができる。

- (1) 不正の手段により補助金を受けたとき。
- (2) 補助金交付の条件に違反したとき。
- (3) 前条第1項ただし書きの規定による承認を受けないで補助対象機器を処分したとき。

2 規則第 11 条第 2 項の規定にかかわらず、市長は、第 1 項ただし書きの規定により承認を受け補助対象機器を処分した場合又は前項の規定により補助金の交付を取り消した場合、当該処分又は取消しに係る部分に関し、既に補助金が交付されているときは、補助金の返還を命ずることができる。

(協力)

第 11 条 市長は、補助金の交付を受けた者に対し、必要に応じて補助対象機器の運転状況等に関するデータの提供その他の協力を求めることができる。

2 補助金の交付を受けた者は、前項の規定による協力に応じるよう努めるものとする。

別表第1（第2条関係）

補助対象機器	要件
太陽光発電システム	<p>(1) 設置された住宅において電気が消費され、連系された低圧配電線に余剰の電力が逆流されるものであること。</p> <p>(2) 未使用品であること。</p> <p>(3) 次のいずれかに該当すること。</p> <p>ア 同一年度内に、家庭用エネルギー管理システム及び定置用リチウムイオン蓄電システムとあわせて設置する場合であること。</p> <p>イ 同一年度内に、家庭用エネルギー管理システムの設置及び窓断熱改修を行う場合であること。ただし、新築及び増改築にあわせて行うものは除く。</p>
燃料電池システム	<p>(1) 一般社団法人燃料電池普及促進協会により登録されているものであること。</p> <p>(2) 未使用品であること。</p>
家庭用エネルギー管理システム	<p>(1) 愛知県が実施する愛知県住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金の補助対象となるものであること。</p> <p>(2) 未使用品であること。</p>
定置用リチウムイオン蓄電システム	<p>(1) 国の補助事業における補助対象機器として一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII）により登録されているものであること。</p> <p>(2) 未使用品であること。</p>
窓断熱改修	<p>(1) 居間又は主たる居室（就寝を除き日常生活上在室時間が長い居室等をいう。）の外気に接する全ての窓の改修を必須とし、その他の居室又は廊下、玄関その他の非居室の外気に接する窓の改修も含む。</p> <p>(2) 内窓設置、外窓交換又はガラス交換を伴う窓断熱改修工事であること。</p> <p>(3) 従来設備の改修であり、新築又は増改築にあわせたものでないこと。</p> <p>(4) 改修後の熱貫流率が$4.65\text{W}/\text{m}^2 \cdot \text{K}$以下になること。</p> <p>(5) 改修に用いる窓、ガラス、サッシ等の建具が未使用品であること。</p>

別表第2（第3条の2関係）

補助対象機器	補助対象経費
太陽光発電システム	太陽電池モジュール、架台、接続箱、直流側開閉器、交流側開閉器、インバータ・保護装置、発生電力量計、余剰電力販売用電力量計、配線・配線器具の購入、据付けその他対象設備の設置工事に関する費用
燃料電池システム	燃料電池ユニット、貯湯ユニット、附属品（リモコン、配管カバー、燃料電池システム試運転に係る費用等）、配線・配線器具の購入、据付け、配管・配管器具の購入、据付け及びこれらの工事に付随する工事に関する費用
家庭用エネルギー管理システム	データ集約機器、通信装置、制御装置、モニター装置、計測機器、配線・配線器具の購入、据付けその他対象設備の設置工事に関する費用
定置用リチウムイオン蓄電システム	リチウムイオン蓄電池と電力変換装置（インバータ、コンバータ、パワーコンディショナー等）で構成される設備の設置に関する費用
窓断熱改修	改修にかかる設備の購入費（本体及び設置に必要な建具を含む。）及び工事費（既存窓の撤去費用を含む。）

附 則

- この要綱は、平成18年4月1日から施行する。
- 春日井市住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金交付要綱（平成10年6月1日施行）は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

- この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、平成20年4月1日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。

附 則

- この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

- 2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、平成 21 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、平成 22 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要綱は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、平成 23 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要綱は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、平成 24 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。
- 3 この要綱の施行の際、改正前の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定に基づいて調製されている用紙類は、改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定にかかわらず、当分の間、そのまま又は所要の訂正をして使用することがある。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、

平成 26 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。

- 3 この要綱の施行の際、改正前の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定に基づいて調製されている用紙類は、改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定にかかわらず、当分の間、そのまま又は所要の訂正をして使用することがある。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、平成 28 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。
- 3 この要綱の施行の際、改正前の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定に基づいて調製されている用紙類は、改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定にかかわらず、当分の間、そのまま又は所要の訂正をして使用することがある。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、平成 29 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。
- 3 この要綱の施行の際、改正前の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定に基づいて調製されている用紙類は、改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定にかかわらず、当分の間、

そのまま又は所要の訂正をして使用することがある。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、平成 30 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。

3 この要綱の施行の際、改正前の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定に基づいて調製されている用紙類は、改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定にかかわらず、当分の間、そのまま又は所要の訂正をして使用することがある。

附 則

この要綱は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この要綱は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、令和 2 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金から適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。

附 則

1 この要綱は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の春日井市住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金交付要綱の規定は、令和 3 年 4 月 1 日以後の申請に係る補助金について適用し、同日前の申請に係る補助金については、なお従前の例による。